

平成25年行政事業レビューシート (外務省)																	
事業名		欧州安全保障協力機構軍備管理・軍縮会合 (OSCE) 拠出金 (任意拠出金)			担当部局庁		欧州局		作成責任者								
事業開始・終了(予定) 年度		平成8年度開始			担当課室		政策課		課長 原 圭一								
会計区分		一般会計			政策・施策名		基本目標Ⅶ：分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-1：国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第四条第三項			関係する計画、通知等		OSCE事務総長からの要請										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		世界最大の地域安全保障機構であるOSCEは、57か国が加盟し、我が国を含む11か国がパートナー国となっている。OSCEは、政治・軍事面においては加盟国の査察等を実施すると共に、経済・環境及び人権・民主主義面においても加盟国(パートナー国も含む)において選挙監視や各種プロジェクトを実施しているところ、我が国の外交姿勢と整合的なプロジェクトを支援し、地域の安全保障環境の改善に貢献する。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		OSCEは、冷戦終焉後、特に民主主義と法の支配の確立が地域の安全保障上不可欠であるとの考えの下、アフガニスタン及び中央アジアにおいて多くのプロジェクトを実施し、その実績は国際社会においても高く評価されている。我が国は、分野的にも地域的にも幅広いOSCEプロジェクトの中から国境管理プロジェクトや女性の社会進出支援プロジェクト等を中心とする我が国の政策に合致し、かつ費用対効果の高い適切な案件を支援している。															
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他															
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求					
				当初予算		0.9		0.8		0.6		0.5		—			
				補正予算		—		—		71		—					
				繰越し等		—		—		—		—					
		計		0.9		0.8		72		0.5		—					
		執行額		0.9		0.8		72									
執行率 (%)		100%		100%		100%											
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		22年度		23年度		24年度		目標値 (25年度)	
		【成果目標】①平成22年度当初:憲法・選挙改革支援(メディア・キャンペーン)、②中小企業及び小規模手工芸ビジネスのサポートを通じた女性企業家支援③女性のメンター・メンティーツールキット構築プログラムを通ずる女性支援 【成果実績】①平成22年度当初:放映されたテレビ番組数(毎回日の丸が放映)、②参加女性数:アフガニスタン、タジキスタン、アゼルバイジャンからの参加者合計27名及び事務局からの8名を加えた合計35名が参加(期間は、2013年3月まで)③女性の立場向上プロジェクトスタッフが5つの地域において女性の啓発等のためのネットワーク作りを実施。 ※平成25年度の拠出案件は検討中。				成果実績		①日 (回) ②人 ③地域		①4		②35		③5		※未定	
		達成度				%		①100%		②0%		③0%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		22年度		23年度		24年度		25年度活動見込	
		OSCEへの拠出				活動実績 (当初見込み)		件		①1		②1		③1		※未定 ()	
単位当たりコスト		①憲法・選挙改革支援(メディア・キャンペーン)(22.5万円/日(回)) ②中小企業及び小規模手工芸ビジネスのサポートを通じた女性起業家支援(23.1万円/人) ③女性のメンター・メンティーツールキット構築プログラムを通ずる女性支援(12.8万円/地域。) ※単位あたりコストは、日本の拠出金のみを対象として算出。				算出根拠		①:90万円÷4日(回)=22.5万円/回 ②:81万円÷35人=23.1万円/人 ③:64万円÷5(地域)≒12.8万円/地域									
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由										
	事業費		0.5		—		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減。										
	計		0.5		—												

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費 必要投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	地域安全保障機構が安全保障の観点から行う事業であり、民間等の資金で実施することは困難。我が国は自国のみでは実施できない適切なプロジェクトへの拠出により、国際的な安全保障環境の改善に寄与することができる。なお、平成23年度予算による事業は平成25年3月までの間実施される予定。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—	OSCEが実施する複数の事業の中から、我が国の外交・安保政策に合致し、かつ、我が国支援のレジリティを確保できる事業を選定して拠出している。定期的に収支報告書を受領して、事業の進捗を確認するとともに、拠出金の使途をフォローアップしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	OSCEを通じた支援により、幅広い分野及び地域への支援が可能。拠出により、57か国の加盟国と11か国のパートナー国に対して我が国の支援のレジリティを高めることができるとともに、世界最大の安全保障機構であるOSCEに対する関与を確保することができる。さらには、被支援国との2国間の関係でも良好な関係を構築することが可能であり、本拠出金の意義及び効果は高い。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	我が国の外交政策に合致し、かつOSCEの枠組を通じてしか行うことのできない適切なプロジェクトを選定するよう留意する。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 抜本的 改善	廃止					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0165	平成23年	163	平成24年	186